

会 議 録

会 議 名	令和6年度 第1回山形市立図書館協議会
日 時	令和6年6月26日（水）午後2時～午後3時10分
開 催 場 所	山形市立図書館 2階 集会室
主 催	教育委員会図書館
出 席 者	【図書館協議会委員】 伊藤弘昭委員長、井上幸弘副委員長、高梨明恵委員、前田洋光委員、村形弘也委員、佐々木僚委員、渡邊さおり委員、山口由美委員、沖津卓也委員、大場恵子委員、リサ・ソマーズ委員（欠席：小鹿泰子委員） 【教育委員会】 金沢教育長、佐藤社会教育青少年課長 【事務局】 阿部館長、齋藤副館長、池田副館長(兼)管理係長、岸野副館長(兼)企画運営係長、峯田図書サービス係長
議 題	報告 令和5年度図書館事業について 本のひろば@市役所の開設について 協議 令和6年度図書館事業（案）について
傍 聴 者	なし
審 議 経 過	下記のとおり
資 料 名	次第 ※事前配布 山形市立図書館協議会委員名簿 ※事前配布 【資料1】令和5年度山形市立図書館事業について（報告） ※事前配布 【資料1別紙】令和5年度講座・催物一覧 ※事前配布 【資料2】本のひろば@市役所の開設について ※事前配布 【資料3】令和6年度講座・催物一覧（案） ※事前配布 【資料3別紙】令和6年度図書館の運営方針 ※事前配布 SDGs 関連資料 ※事前配布 関係法令抜粋 ※事前配布 令和6年度第1回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 ※当日配布
そ の 他	次回の開催日：令和7年2月
作 成 者	管理係 主査 西村勇亮

【 次 第 】

- 1 開会
- 2 辞令書交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員長あいさつ
- 5 報告
 - （1）令和5年度図書館事業について
 - （2）本のひろば@市役所の開設について
- 6 協議
 - （1）令和6年度図書館事業について
- 7 その他
- 8 閉会 ※協議会終了後、希望する委員を対象に新システムの説明会を開催。

報告及び協議については、山形市立図書館条例施行規則第19条の規定により、伊藤弘昭委員長が議長となり、以下のとおり議事を行った。

議 長	それでは早速、次第5の(1)「令和5年度図書館事業について」、事務局からご説明をお願いします。
事 務 局	それでは、資料1及び資料1別紙に基づき「令和5年度図書館事業」についてご報告します。 (資料1・資料1別紙に基づき報告) 報告は以上です。 事前にご質問・ご意見を頂戴していますので、こちらについて回答・説明いたします。本日配布しました資料をご覧ください。 (令和6年度 第1回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 1に基づき回答、説明。) 事前に頂戴しましたご質問、ご意見に関しては以上となります。
議 長	それでは委員の皆様、ただいまの回答に対して追加の質問や補足説明等がありましたらよろしくお願いします。
村形委員	質問・意見と回答の1つ目の、村木沢小学校と山寺小中学校と第四小学校で話を開催されたということでしたけど、それぞれの人数は何名ほどになるのでしょうか。第五小学校については「3回で約200人」といった記載があるのですが。
事 務 局	大変申し訳ございません。本日数字を持ち合わせておりませんので、後日皆様にご報告させていただきたいと思えます。
高梨委員	村木沢小学校では昨年度、高学年の児童を対象にやっていただいて、全校で56人いるんですけれども、その中の高学年なので半分ぐらいですかね、20人くらいになるのですけれど。 「ききみみの会」の方の聞き語りを聞いたんですけれども、今年度から低学年にも対象を広げて全校生でそれぞれの学年に合わせた聞き語りをさせていただく形になっているようです。
井上委員	今、高梨委員からありましたけれども、村木沢小学校では今年からで1年生から6年生まで全学年やらせてもらいました。 山寺小中学校は、小学校と中学校2年生までを対象にして、4年生までのクラスと、5年生から中学2年生までのクラス数に分けて話をさせてもらいました。 第四小学校については低学年、1年生と2年生だけです。 人数で一番多いのは第四小学校です。
議 長	ありがとうございます。
前田委員	質問・意見と回答の2つ目のところあるように、中学校に対して様々なサポートしていただきまして本当にありがとうございます。 1つ内容を説明していただけるかなんですけれども、「団体貸出」の部分で、大変有効に使わせていただいているのですが、新たな取り組みことというので、方向性・内容が固まったら周知します、ということなんですけれども。

	ある程度の見通しがあれば、教えていただける範囲で教えていただきながら、そこに新たなこと、私の方で何か考えを加味できるかどうか分からないのですけれども、どういう方向で検討されているのかなと。
事務局	ご意見ありがとうございます。 今、市立図書館では、「児童生徒の読書について全力で応援したい」といったふうに考えており、今年度から本格的に検討を開始したところです。 団体貸出につきましてはネックというか懸念として、先生方のご多忙な中、実際に来館して資料を受け取るといった時間も非常に制限される、という点がまず一つあります。 それから、選書などについても大分頭を悩まされているかもしれない、というところもう一つあります。 どこまで対応できるかという点は検討段階なのですが、先生方にできるだけご負担をかけないような、例えば図書館から学校の方に「配達」という形がとれるかどうか。そこまでできるかどうかは図書館のマンパワーの問題もありますが、まずは団体貸出をご利用していただきやすいような仕組みを何とか考え出せないか、それを学校の方にお伝えして、学校の方から「こういう形であれば」というふうなことで利用の拡大を図ることができれば、と考えています。 物理的にお時間を取りづらい先生方のご負担と、我々の図書館職員のそれに伴う作業・業務量の増加とか、そういったところの検討を、なかなか図りづらいのですけれども、何とかそれを形あるものにしてご提示できるような仕組みを今、考えているというところです。 まだそういうフワツとした中身で申し訳ないのですが、以上になります。
前田委員	大変助かる方向性をお聞きしたので、よろしくお願いします。
議長	今の団体貸出の充実のところで、一番充実させるためのポイントは、今お話があった通り、物流の問題をどう解決するのかで全然、利用度が違ってくるのではないかな、というふうに個人的には考えております。 各地域の先進事例でも物流の問題がしっかり解決、例えば宅配業者に委託して巡回するなど、物流のシステムがきちりと確立することによってこの団体貸出、あるいは学校図書館との連携というのはより現実的な効果を上げることにつながるというふうに言われています。 ただ、予算とも多分関わってくる問題ですので今すぐとは言いませんけれども、この充実を図るとしたらそうした物流の方の対策といったものを、教育長もいらっしゃることですし、是非とも検討いただけたらより効果が上がるものになるのではないかと思います。 ぜひ前向きな検討をよろしくお願いいたしますと思います。
村形委員	団体貸出の中にはあらかじめセットを組んでいる「セット貸出」も含まれているのでしょうか。セット貸出というのは、市立図書館さんではメインとしてはありましたでしょうか。
事務局	学校から事前にご連絡をいただき資料を用意する、ということは以前から実施しておりますが、今後につきましてはこれまで以上に学校を支援するため、図書館側からの資料の提案という形であらかじめ「セット」として用意するといった、新たな取り組みもしていきたいと考えております。
村形委員	検討中の事項の一つに、教育現場の方々がお忙しいのでその時間・手間を省くために、例えば夏休みの探究学習に利用されるものとか、平和学習に使われるものとか、そういったセットでの貸し出しなども検討されているという理解でよ

	ろしいですか。
事 務 局	そうでございます。
村形委員	ありがとうございます。
井上委員	図書館キッズへの質問に対して回答していただき、ありがとうございます。 それで、質問・回答の2つ目にも「学校図書館との連携」とあるので、去年出した図書館キッズが悪いとか言っているわけじゃないんです。とても内容は充実していたし、楽しい中身だったんですけども、どうしてもやはり大人に対してのメッセージのようなものが強かったなあとと思っているんです。 図書館キッズというのは、やはり子供たち自身がもっともっと主役のページになった方が良いのではないかと。学校図書館ではいろいろ工夫して、図書委員の皆さんが学校の児童生徒の皆さんに対して「こういった本があるよ」と紹介しているので。新たに原稿を図書館キッズのために作ってくださいということでなく、互いに図書館も学校の方も負担が少なくなるような形で学校の図書館で既にやっているものを、例えば一小的児童だったら一小的図書館の蔵書から、今まで私も図書館キッズの中で紹介しているんですけど、もっと子どもたち自身が「こんな本読んで面白かった」とかですね、そういう声を図書館キッズに掲載し全部の小学校に配布されることで、子どもたちが「私が書いたのが載ったんだ」というよう体験をしてほしいと思っています。 去年やったキッズの記事の内容は「館報べにばな」に掲載する内容でいいのではないのかなと思っているところです。 もっと、児童・生徒自身が主役になるようなページづくりをしてくれるといいのかなあと考えたところでございます。
事 務 局	図書館キッズのことにつきましては井上委員がおっしゃる通り、子どもたちの声を載せていたとこともしばらく前まではあったようなのですが、近年はそういった視点や取組が、ややもするとちょっと欠けてきているのかなと感じるところがあります。 今お話ありました通り、学校図書室の現状については、昨年度から各学校を訪問し、「学校図書館としてこういう工夫をしています」といったところの紹介はできているのかなと思います。 今後は残せるところは「図書館キッズの色」として残し、なおかつ今、委員からご指摘いただいたことも含めて、検討していきたいと思います。 「館報べにばな」との差別化も少し意識した上での「図書館キッズ」の構成にしていきたいと思います。
議 長	委員からの指摘を確認して編集していただくと、もっと効果的な広報といいますかツールとして使えるのではないかと、こういった趣旨のご意見でよろしいでしょうか。
井上委員	はい
議 長	令和5年度図書館事業報告についてはここで一旦打ち切り、続きまして報告の(2)「本のひろば@市役所の開設」について、ご説明をお願いします。
事 務 局	それでは資料2に基づき「本のひろば@市役所の開設について」ご説明いたします。 (資料2に基づき報告) 報告は以上です。

事前にご質問・ご意見を頂戴していますので、こちらについて回答・説明いたします。本配布しました資料をご覧ください。

(令和6年度 第1回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 2
に基づき回答、説明。)

事前に頂戴しましたご質問、ご意見に関しては以上となります。

議 長

ありがとうございました。

ただいまの事前質問に対する回答も含めまして、「本のひろば」と「本のひろば@市役所の開設」について、ご意見・ご要望等おありの方はいらっしゃいますでしょうか。

まずこの報告から、駅の方はかなり盛況といいですか、かなりの効果を上げているのではないかと。本の利用がなくても、市立図書館がやっていること、市立図書館があるということの認知度が上がれば効果はあるかと、私自身は思っております。

本のひろば@市役所、雰囲気だとか私個人で実際に見る機会が今までなかったので、今度把握を是非とも見させていただきたいかなと思うのですが、この質問ですと、ちょっと固めの本を結構そろえているような雰囲気なんですか。

事 務 局

いいえ、そういう意図ではありません。

議 長

決してそういう意図ではないと。

これも試行錯誤を重ね、利用状況などを把握するのはなかなか難しいかとは思いますが、時々様子を見ながら、よく手に取られている本等々があるようだったら、より手に取ってもらえるような品ぞろえになることを期待しております。

他の委員の皆様からご意見等ございますでしょうか。

では、この議題はこれでということと。

議 長

それでは協議事項に移ります。

令和6年度図書館事業について、ご説明お願いいたします。

事 務 局

それでは資料3に基づき「令和6年度図書館事業について」ご説明いたします。

(資料3に基づき報告)

報告は以上です。

事前にご質問、ご意見を頂戴していますので、こちらについて回答・説明いたします。本配布しました資料をご覧ください。

(令和6年度 第1回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 3
に基づき回答、説明。)

事前に頂戴しましたご質問、ご意見に関しては以上となります。

議 長

それでは、ご説明のあったことや事前質問への回答、その他この場で資料に改めて目を通して新たにお気づきの点、あるいは要望等ありましたら、皆様のご意見、ご質問等お聞かせいただければと存じます。

村形委員	事前の質問・意見の3つ目のご意見ですが、小中学校の児童・生徒さんが好きな本を選んで学校で読んでもらうという、このご意見はすごくいいなと私も感じたところです。 やはり県立図書館もそうなのですが、どんな本が好きで、どんな本を欲しいのかというのはその世代の人にご意見もらうのがいいのかな、というふうに思っています。 まさにこの、小学生・中学生それぞれが自分の置かれている環境、例えば村木沢小学校であれば、学校図書館の蔵書はこれぐらいしかないけど市立図書館であればこんな本が借りられる、ということで50冊も選べるのであれば、同じ環境にある子供たちでしょうから、貸し出しが伸びるんじゃないかなというふうに思っていて、このご意見すごくいいなと評価したところでした。
議 長	是非とも具体的に取り入れられるところは取り入れていただければというところをお願いいたします。 ちょっと意地悪な質問かもしれませんが、今年度に関する資料見させていただきましたけれども、令和5年度事業報告の3ページ目に課題改善案というのが載っておりまして、最後の締めで「来館のきっかけとなるような取り組みを進めていく」と書いておりますけれども、今年度のいろいろな事業の中で、来館のきっかけになる取り組みとして特に意識しているもの、あるいは新規でなくても構いませんのでここに力を入れていくとか、こういった方面でこういった形になることを意図した取り組みというのが、こういったものが該当するのでしょうか。 せっかくここに様々な分野の委員の皆様がそろっているので、クリティカルに、何かしら新たなきっかけとなるような取り組みとしてこういうものがあるのではないかと、というようなご意見等がありましたら併せていただければ今後の活動に繋がる・役に立つのではないかなと思います、話題の提供というところで。 まだそんなに具体的には意識はしていないというところが実感といいますか、私自身具体的な方策というのはまだ頭の中でまとまっていないので非常に申し訳ありませんけれども。
村形委員	私個人的に市立図書館さんがうらやましいと思うのは、基礎自治体だということなんですね。 県立図書館だと県民対象となるものですから、一步、市町村さんを経由してその上というか、ちょっと遠いところにいるんですけど、山形市立図書館さんですと、例えば市長部局のところに健康分野とか子育て分野とかたくさん抱えていらっしゃるじゃないですか。 そういった方々を集める機会のときに、その方々が必要とするような本を持って行ってその場所で借りていただく、なんていう機会もできるんじゃないかなというふうに思っていたところですね。その反対に、健康とか子育てに関心がある人をこの図書館に足を運んでもらうために、そういった市長部局の方々が主催する講演会とかをこの図書館で開催してもらうというのはどうだろうか。 すべてでなくても、可能な範囲で協力してもらえれば市立図書館の職員さんの負担も少ないでしょうし、市長部局の職員さんともウインウインで事業が実施できるのかなと思うものですから、そういうきっかけづくりも1つできるんじゃないかなと思いました。 酒田市立図書館さんだと、医療分野の講演会を定期的に、シリーズ的にやって

	いるんですね。市の医師会というか、特定のお医者さんがご協力してくださるということで、そういったご協力して下さるところがあるのであれば、やはり市民に近い図書館ですので、そういうところもちょうと検討されてはどうか、というふうに思います。
議長	アドバイスやご意見、大変ありがとうございました。 足を運んでもらう一番のきっかけは、何かしらの興味のあるイベントや催し物を開催してそこに来てもらって、それに合わせて、というのが一番直接的な方法だと思います。先ほどあった中で、貸出冊数を伸ばすのであれば、来館してもらう前に出前図書館の変形バージョンのような、ご意見ありましたように、人が集まるところに行って貸し出す機会・場といったものを、これも駅とか市役所もその一環だと思うんですけども、そうした機会などで出来るものはないのかと。 来てもらうだけではなくて、せっかく昨年度からこちらから出向いていくという方向でかなり積極的に展開しているとすると、貸し出しということに関してもその考え方を発展・生かしていくというのも1つの方法ではないかなというふうに思います。 言うは簡単でやるのは難しいかとは思いますが、1つの考え方として先ほど村形委員のご意見等を伺いながら、図書館から出向いていく、そして貸し出しができる機会を増やしていくというのが1つの方法かなと。 ただ、イベント等と絡めてといったところで一番ネックになるのは、駐車場の問題ですよね。何か市立図書館でやるには、やっぱり足の問題ということで他の部局がそこで渋るというか、そういったところが問題・課題としては考えられるかなとは思いますが。
井上委員	出前図書館を駅の本のひろばでやっているし、本庁の1階でもやっている。これは図書館のPRとしてはとてもいいものだと思うんですけど、その準備するのが大変だろうと。 色々と、あれをやれ、これをやれということで、図書館の人達が非常に振り回されいけると言うて怒られますけれども、大変だになってというのがわかります。 それで、今年度に寒河江市立図書館で導入したんですけども、軽トラックを利用した移動図書館。山形市立図書館にも「移動図書館」という大きな3,000冊積んで回ったのがありましたけども、そういう大きなものではなくて小型のもの。小型のものは準備するのも楽で、そんなに積載冊数も多くはないけれど非常にゲリラ的にどこにでも行けると。 それでそのまま学校図書館に行くこともできるし、人が集まるところに行くこともできる。ぜひ寒河江市などの実践例なども参考にしながら、そういうものをもう一つ取りに入れることによって、職員の負担なども軽減されるのではないかと。 駅なかマルシェなんかに参加すると、本当に大変だというのがわかりますから。本を準備して貸し出しの手続きをやってというと、それだけで大変だなあと。 市の方でぜひ、寒河江市での半年間の事例なんかも参考にしながら、次の予算要求をしていただくといいのかなあとと思うんですね。
議長	大変現実的なご意見だと思います。 やっぱり予算ですかね。ただ、この協議会としては要望というところで、予算のことをこのメンバーが気にすると言いたいとも言えない、要望等言えなくなりますので、そこを抜きにしてでもせっかくの機会ですのでどうでしょうか。

	あるいは、こういう取り組みがどうなのか、取り組みはどんなものなのかといったようなことはありますでしょうか。
議 長	この次の令和6年度第2回協議会のところで、何かいろいろと市立図書館、今ありましたように新しいことをやるということは色々と職員の負担も増えてくるとことはよくわかりますけれども、せっかく昨年あたりからいろいろ新しい動きを積極的に展開しているというところでもうしばらく、定着するといえますか、ある程度軌道に乗ってくると少し余裕を持って臨むことができるかと思しますので、出てきたようなご意見等を反映させた形では今後のより積極的な展開を増やし事業にあたっていただければということで、よろしくお願いします。
事 務 局	様々のご意見を頂きまして、ありがとうございました。 伊藤委員長からお話あったように、本のひろばをきっかけにして、積極的なPRも含めてですが、市立図書館として外向けに、本当に市民の方が気軽に本を手にとることができる機会を少しでも増やそうという気持ちで我々も今取り組んでいるところです。本のひろばを足がかりにして、今後もお一層市民の方々、本を必要とする方や読書が好きな方に本が届くような、そういった仕掛けも含めて考えていければなと思っています。 来館者が増えるということは大変うれしいことではありますが、やはり市立図書館の立地が中心市街地から少し外れているところもあって、公共交通の便や駐車場など様々な課題があります。 そういった課題を一気に解決することは難しいので、市立図書館としてどういうことを、何を重視していくのかといった点も考え、じっくり検討しながら、市の施策や事業と絡めて取り組んでいきたいと考えています。 庁内では、市の長寿支援課と協力して館内で高齢の方の作品の展示を行ったり、山形五堰の世界かんがい遺産登録では同じく市の農村整備課と協力するなど、庁内とのタイアップ事業なども取り組んでいるところではありますが、今後もそういった取り組みも継続していきたいと思っております。 貴重なご意見ありがとうございました。
議 長	前向きな考えをいただきまして、ありがとうございます。 頑張ってくださいとしか申し上げられませんが、特に質問意見等もないようであればこれにて議事を終了いたします。 ご協力ありがとうございました。 これをもちまして私の議長を終わらせていただきます。